



東京 2020 オリンピック聖火リレーは、7月7日（火）から埼玉県内各地を巡った後、7月9日（木）にさいたま市内を通過します。また、東京 2020 パラリンピック聖火リレーは8月20日（木）に埼玉県内で行われ、さいたま市内では「集火式」が開催されます。

実は、オリンピック聖火リレーがさいたま市内に来るのは、今回が2度目です。昭和39（1964）年の東京オリンピックでも、さいたま市を駆け抜けました。

今回は、さいたま市内を通過する昭和と令和の聖火リレーについて紹介します。

東京 2020 オリンピック聖火リレー

さいたま市区間 武藏一宮氷川神社本殿前（大宮区）～さいたま新都心公園（大宮区）

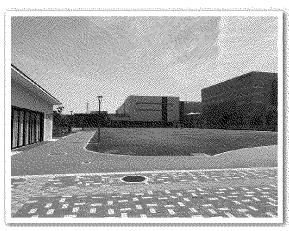


氷川参道と二の鳥居

ギリシャの古代オリンピック発祥の地オリンピアで採火された聖火は、3月20日（金）に日本に到着し、まず宮城、岩手、福島3県で「復興の火」として展示されます。その後、3月26日（木）に福島県をスタートして47都道府県を巡ります。

埼玉県内では、7月7日（火）に川口市からスタートし、7月9日（木）のさいたま市まで40市町を巡ります。

さいたま市内では、武藏一宮氷川神社本殿前を出発して氷川参道を南下し、さいたま新都心公園までの約3.3km、合計16スロットを聖火ランナーが炎をつないで走ります。さいたま新都心公園では、聖火到着を祝うイベント「セレブレーション」が行われます。その後、東京都内での聖火リレーを経て、7月24日（金）に新国立競技場で行われる開会式で、聖火台に点火されます。



さいたま新都心公園

東京 2020 パラリンピック聖火リレー

埼玉県内「集火式」会場 けやきひろば（中央区）



けやきひろば
写真提供 STIB

パラリンピックの聖火は、パラリンピックの原点となった国際的な障害者スポーツ大会が初めて開催されたイギリスのストーク・マンデビルと、日本国内の47都道府県で採火され、開催都市・東京で一つに集火されます。

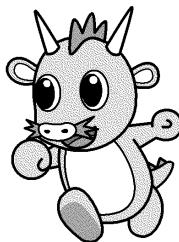
埼玉県内では8月20日（木）に、17市町村で採火した炎を、さいたま市内のけやきひろばで一つに集火した後、6市町で聖火リレーを行い、東京都に向けて出立します。

東京1964オリンピックの聖火リレー

ギリシャから東京までの道のり

東京1964オリンピックの聖火は、同年8月21日にギリシャのオリンピアで採火された後、11都市での聖火リレーを経て、9月7日、当時返還前だった沖縄に到来します。国内では、全都道府県を4つのコースに分かれて回り、東京を目指しました。

9月9日、北海道を出発した「第3コース」の聖火リレーは、青森、秋田、山形、新潟、群馬各県を走り、10月6日に旧上里村（現上里町）から埼玉県へと入ります。埼玉県内では15市町村 68 区間を通って、翌10月7日に県内最終地点の旧戸田町（現戸田市）から東京都へと渡りました。



4つのコースをたどった聖火は、10月9日に皇居二重橋前広場で一つに集火されました。そして、翌10月10日、秋晴れの旧国立競技場で行われた開会式で、聖火台に点火されたのです。

旧大宮市・旧浦和市内のコース

『大宮市史』『浦和市史』に収載された資料から、当時の聖火リレーの中継点や通過予定時刻をることができます（下表）。

10月6日16時頃に上尾市から旧大宮市へ入った聖火は、旧中山道を南下するコースをたどります。この日は、旧大宮市内 8 区間、旧浦和市内 4 区間を走り、埼玉県庁内の貴賓室で一夜を過ごします。翌10月7日10時40分頃に県庁を出発すると、旧浦和市内の残り 3 区間を経て、蕨市へと走り抜けました。

旧大宮市・旧浦和市内の中継点

中継点名称	所在地（現在の住所等）	通過予想時刻
上尾市境	北区別所町・上尾市栄町	10月6日 15:54
宮原公民館（宮原小前）（※1）	北区宮原町4丁目 宮原小学校付近	—
宮原駅前	北区宮原町2丁目・3丁目 宮原駅前交差点付近	—
中山道・国道交差点	北区宮原町1丁目・東大成町2丁目 東大成町交差点付近	—
富士写真入口	北区東大成町1丁目・2丁目 富士フィルム大宮事業所バス停付近	—
裏参道入口	大宮区土手町1丁目・2丁目	—
大宮郵便局前	大宮区大門町1丁目・2丁目 大宮駅東口入口交差点付近	—
表参道入口	大宮区吉敷町4丁目 武蔵一宮氷川神社一の鳥居付近	—
三菱研究所前	大宮区北袋町1丁目	16:41
針ヶ谷交番前	浦和区針ヶ谷2丁目	16:47
北浦和信用金庫前	浦和区北浦和1丁目・3丁目 北浦和駅東口交差点付近	16:53
常盤町郵便局前	浦和区常盤2丁目	16:59
県庁	浦和区高砂3丁目 埼玉県庁本庁舎南側	10月6日 17:07 10月7日 10:42
市役所岸町分庁舎前（※2）	浦和区岸町2丁目・3丁目・5丁目 岸町公民館前交差点付近	10:48
南浦和中学校前（※3）	南区根岸4丁目・5丁目	10:56
アボロガソリンスタンド前	南区辻2丁目・3丁目 六辻交差点付近	11:00

※1 宮原公民館は、現在の宮原小学校の敷地内にありました。

※2 旧浦和市役所岸町分庁舎は、現在の岸町公民館の場所にありました。

※3 当時の南浦和中学校は、現在のさいたま市文化センター・南浦和図書館（南区根岸1丁目）の場所にありました。

【参考資料】

- ・『大宮市史 総1 現代資料編』 大宮市役所 1989年
- ・『浦和市史 第5巻 現代資料編1』 浦和市総務部行政管理課／編 1999年
- ・『埼玉新聞』 昭和39年5月12日、10月7日、10月8日 埼玉新聞社 1964年
- ・『埼玉年鑑 昭和41年版』 埼玉新聞編集局／編集 1965年
- ・『地図で読み解く東京五輪』 竹内正浩 ベストセラーズ 2014年
- ・『1964東京五輪聖火空輸作戦』 夫馬信一／著 原書房 2018年

本棚 ぶらり

テーマ オリンピック・ パラリンピック

『オリンピックの真実』

さやまかずお
佐山和夫／著

潮出版社 2017年



19世紀の末、フランスのクーベルタン男爵が、古代ギリシャのオリンピックに範をとったスポーツ大会を近代に復興しようと思い始めた頃、すでにイギリスでは、「オリンピック」の名を冠するいくつかのスポーツ・イベントが行われていた。最も古いものは17世紀初頭に始まり、現代もなお続いているのだという。

それライギリスの「オリンピック」は、誰がどのように始めたのか。そして、近代オリンピックの構想を固めていくクーベルタンに、どのような影響を与えたのか。著者は、イギリスにゆかりの地を訪ねて取材を重ね、考察を深めていく。先例の優れたところに学びながら、自ら理想とする近代オリンピックを作り上げようとしたクーベルタンの姿勢が印象的だ。

『TOKYO オリンピック物語』

のじつねよし
野地秩嘉／著

小学館 2011年



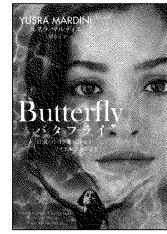
数多くの選手たちの活躍が今も語り継がれている1964年の東京オリンピック。しかし、本書の主役は、そんなスポーツヒーローたちではない。オリンピックを裏で支える組織や運営システムを作り上げた人たちだ。それまでは、競技の結果を記録して着順をつけるためには人手や時間を必要とした。しかし、世界初のコンピュータによる“リアルタイムシステム”により、選手たちがゴールをするとすぐにオンラインで順位とタイムが表示される画期的なシステムを開発して成功を収めた。1964年の東京オリンピックが日本の経済社会にもたらした大きな変革を知ることができる一冊、この機会にぜひ読んでいただきたい。

『バタフライー17歳のシリア難民少女がリオ五輪で泳ぐまで』

ユスラ・マルディニ／著

ジョジー・ルブロンド／著

土屋京子／訳 朝日新聞出版 2019年



2016年のリオオリンピックでは、世界中の難民に希望を与えることを目的とした「難民五輪選手団」が編成された。本書はこの選手団の一人であるユスラ・マルディニがたどった祖国・シリア出国からリオオリンピック出場にいたるまでの物語である。

幼いころからオリンピックを目指して水泳に打ち込んできた彼女は、内戦の激化により、姉とともにドイツへ渡る。海ではゴムボートが転覆しきたり、ハンガリーでは警察に追われたり、旅は危険の連続だった。ついに念願の水泳を再開することができたが、難民の女の子がオリンピック出場の夢を叶えるとは誰も予想していなかった。

難民に対する偏見や祖国に残る人々への罪悪感に打ちひしがれながらも、ユスラはオリンピック出場に希望を見出す。彼女はオリンピック出場を通して何を伝えようとしたのか。

『パラリンピックの楽しみ方 ールールから知られざる歴史まで』

ふじたもとあき
藤田紀昭／著

小学館 2016年



パラリンピックでは選手の努力はもちろんのことですが、用具の開発が記録や勝敗に大きく貢献してきました。例えば、車いす。わたしたちが普段見ている車いすとは異なり、競技の特徴に合わせて形状や強度を変えています。陸上競技用車いす「レーサー」は空気抵抗を抑えて高速走行することができ、パラリンピックの車いすマラソン世界記録はオリンピックのマラソン世界記録を大きく上回っています。

本書は、パラリンピックの競技のルールや魅力だけではなく、障害者スポーツの変遷や現在のパラリンピックが抱える問題、そして東京2020パラリンピック以降の問題にいたるまで知ることができる一冊です。

現代短歌新人賞

第20回記念

さいたま市が主催し、市民の文学活動の充実と日本現代短歌界の振興を目的に、歌壇に新風をもたらす歌人を表彰してきた「現代短歌新人賞」。その第20回受賞作が川島結佳子さんの『感傷ストーブ』(短歌研究社 2019年刊)に決まりました。

川島さんの歌集は現代に生きる若い女性の心情や生態が生き生きと歌われており、作者が自身を客観的に見ていることからユーモアが溢れている。一読すると嬉しいが、じつは現代女性が生きる辛さを教える歌集である。

(選考委員講評 さいたま市ホームページより)

受賞作品や選考過程については、雑誌『ミセス』2020年3月号(文化出版局)に記事が掲載されています。さいたま市図書館でも所蔵していますので、ぜひご覧ください。



『感傷ストーブ』
川島結佳子／著
短歌研究社
2019年

「わたしの本棚」機能をご利用ください

「貸出の記録を残したい」、「お気に入りの資料を控えておきたい」という方は、ぜひ「わたしの本棚」機能をご利用ください。図書館ホームページか館内検索機の「マイページ」からご利用いただけます。

- ・「わたしの本棚（読み書き）」に貸出履歴を残すことができます。なお、利用するには事前の設定が必要です。設定前の貸出履歴は確認できません。
- ・「わたしの本棚（お気に入り資料照会）」から読んでみたい資料・もう一度読みたい資料を一覧にすることができます。

※ご利用には図書館利用者カード番号とパスワードが必要です。

利用方法等、詳しくはこちらをご確認ください。

<https://www.lib.city.saitama.jp/contents?pid=25>

図書館からのお知らせ



岩槻駅東口図書館は、施設修繕のため臨時休館していましたが、2月13日(木)から再開館しました。

ご利用の皆様にはご不便をおかけしました。

今後とも、さいたま市図書館をよろしくお願ひいたします。

編集：さいたま未来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<https://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <https://www.lib.city.saitama.jp/m/> (下のQRコードを読み込んでください)

北浦和図書館 832-2321	馬宮図書館 625-8831	与野図書館 853-7816	桜図書館 858-9090
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	与野南図書館 855-3735	大久保東分館 853-7100
美園図書館 764-9610	春野図書館 687-8301	西分館 854-8636	北図書館 669-6111
大宮図書館 643-3701	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523	宮原図書館 662-5401
桜木図書館 649-5871	七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200	武蔵浦和図書館 844-7210
大宮西部図書館 664-4946	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665	南浦和図書館 862-8568

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100 FAX 048-884-5500

★★編集後記★★ オリンピック・パラリンピックには様々な種目があります。観戦する種目のルールを調べる際には、ぜひ図書館をご利用ください。

次回発行予定：8月15日（年3回発行）



もっと身近に、
もっとしあわせに



さいたま未来ぶらり通信は2,000部印刷し、一部あたりの印刷経費は20円です。